

第17回大牟田市地域福祉大会
 ～地域支えあい“絆”セミナー～を開催しました



2月1日、大牟田文化会館小ホールで「第17回大牟田市地域福祉大会」が開催され、約400名の方が来場されました。大会は、様々なボランティア団体のご協力をいただいております。手話通訳を「大牟田手話の会ありあけ」、要約筆記を「要約筆記の会のみ」、点字によるプログラム作成を点訳奉仕「大牟田むつき会」に担っていただきました。

第1部の功労者表彰式典では、地域福祉の向上に貢献された個人・団体・企業や善意銀行高額寄付者、共同募金高額寄付者、共同募金運動の功労者など、延べ85名、36団体に対して、表彰状及び感謝状の贈呈を行いました。功労者表彰式典の最後には、表彰者を代表して、羽山台空き家対策プロジェクト事務局長の平良幸雄さんより謝辞を賜りました。



【第1部】功労者表彰(表彰の部)

【第1部】代表謝辞(平良幸雄様)

【第1部】共同募金関係表彰

第2部の基調講演では、講師に筑紫女学園大学 人間科学部人間科学科 准教授 前田佳宏さんと、今年度で設立10年を迎えた、大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会(以下「社福公益協」)運営委員会メンバーより、社福公益協のこれまでの10年の歩みとこれからの支援活動について、ご講演いただきました。内容は、社福公益協から5人の発表者が登壇、①食料・日用品支援・生活つなぎ資金貸付等、②ゴミ屋敷と呼ばれる家の清掃活動支援、③就労困難者への就労支援パイロット事業、④新型コロナウイルス感染症自宅療養者への生活物資提供事業、⑤不登校ひきこもり支援事業についての報告がありました。それぞれの報告の後に、コーディネーターとして、前田さんから質疑応答する形で進んでいきました。

来場された方は、関心の高い内容だったようで、アンケートには、「過去コロナ期間中、支援物資を頂き、とても感動したことを思い出した」「このような活動されていたとは知らなかった」など、多くのご意見・ご感想が寄せられました。



【第2部】基調講演「制度の狭間と向き合い続けて…」 大牟田市社会福祉法人地域活動協議会の10年の歩み

***** ご寄贈ありがとうございました *****

JAみなみ筑後後援職員連盟様から
 お米の寄贈 贈呈式



2月9日、JA南筑後後援職員連盟様よりお米を、2月19日、社会福祉法人恩賜財団済生会大牟田病院・大牟田ライフケア院様、2月25日、株式会社ハピエスト様より、食料品・飲料水・日用品等をご寄贈いただきました。本会が実施する生活困窮者支援事業、子ども・地域食堂等に活用させていただきます。いつもありがとうございます。



2月9日、JA南筑後後援職員連盟様からは、みやま市社協と大牟田市社協へ30kgのお米を3袋ずつ、ご寄贈いただきました。物価高騰の中、「子ども食堂」の運営に非常に助かります。

2月19日、社会福祉法人恩賜財団済生会大牟田病院・大牟田ライフケア院様より、未開封の食料品・飲料水等のフードロス対策として「フードドライブ※」で集まった商品子ども食堂や生活困窮者支援として役立てて欲しいと、レトルトやインスタント食品・カップラーメン・ティッシュ・オムツなど、1,430点が寄せられました。今回で9回目となります。今後も継続して「困った人に手を差し伸べていきたい」とお話しされました。本当にありがとうございました。

2月25日、株式会社ハピエスト、カーブスゆめタウン大牟田様及びカーブスイオンモール大牟田様より、フードロス対策のためにカーブス会員へ呼び掛けて、食料品、飲料水や日用品等両店舗、併せて103kgをご寄贈いただきました。今回で15回目となります。継続的な支援に感謝いたします。



※フードドライブとは、家庭等で未開封・未使用の食品等を持ち寄り、地域の福祉施設や子ども食堂、生活困窮者支援団体などに寄付する活動です。



2月3日、豆まきを行いました。鬼になるのは年長児。お面は、子どもたちが2週間かけて作り上げた手作りです。お面と腰みのを付け、金棒をもって下のクラスへ出発。

0歳～4歳の小さなクラスは鬼への宝物を作り、部屋のどこかに隠しておきます。年長児は「宝はどこだあ」と各クラスを回って宝さがし。小さいクラスは新聞紙を丸めて作った豆で「鬼は外！」と逃げ回ったり、泣いたりしながら頑張る「泣き虫鬼」、「怒りんぼ鬼」を退治した子どもたちです。鬼退治の後は豆の代わりにポン菓子を食べ、「無病息災」を祈りました。



行政書士相談 3月18日(水) 13:30～15:30 ※先着10名(要予約) 生活支援相談室 ☎32-8851

【編集後記】

小さい頃からずっと動物が大好きな息子。とある動物園では、ピューマが息子をじっと見つめ、後を追ってきたり、お湯に浸かっていたカピバラが、息子を見るなり近寄ってきたこともあります。このように『動物に好かれる人』には、「穏やかな雰囲気がある」「動物を怖がらない」といった特徴があるそうです。私はどんな動物に対しても「怖い」という感情があるため、それが動物に伝わり、お互いが緊迫した状況となるようです。

この春、高校を卒業する息子は、4月から動物系の専門学校へ進学します。近い将来、たくさんの動物たちに囲まれ、笑顔で働く息子の姿が見られますように…。(権利擁護センター 境)

「終活セミナー」～自分らしい終活を考えてみませんか？～が開催されました！

1月24日、イオンホールにて、終活ケアプラザありあけが主催する「終活セミナー」が開催され、会場には定員を超える120名の方々にご来場いただきました。

第1部は、日本エンディングサポート協会の理事長である、佐々木悦子さんより「損をしないための賢い終活」、第2部は、ありあけ不動産ネット協同組合の理事長である、川添健一さんより「空き家になってしまった後について」の講演がありました。参加者の皆さんは、熱心に耳を傾けておられ、今後の暮らしや将来への備えについて考える、貴重な機会となった様子が窺えました。

講演後には、終活ケアプラザありあけに加盟する団体それぞれが相談ブースを設置し、様々な分野の専門職による相談が行われました。社会福祉協議会からも「成年後見制度」に関する相談ブースを設けて、成年後見制度の概要や利用に関する質問などにお答えしました。

今後も、関係機関と連携しながら、市民の皆さんの安心した暮らしにつながる情報提供や相談支援に取り組んでまいります。



「成年後見フォーラム」～正しく学んで備えよう！～が開催されました！

2月6日、おおむたアリーナにおいて、「正しく学んで備えよう！～相続税・贈与税・成年後見～」をテーマに、成年後見フォーラムを開催しました。このフォーラムは、成年後見制度について市民の皆さんに分かりやすく周知するとともに、市民後見人の普及・啓発を図ることを目的として実施したものです。

当日は、はじめに税理士法人 O-tax 代表 小川清春さんによる「かんたんな相続税・贈与税」をテーマとした講話が行われ、相続や贈与に関する基礎知識について、分かりやすく解説いただきました。続いて、「成年後見制度の今」と題し、弁護士の中尾哲郎さんより制度の目的や現状、課題、今後の展望について説明があり、制度の意義や役割について理解を深める機会となりました。



さらに、成年後見センターによる「成年後見物語」では、紙芝居とインタビュー形式を取り入れ、制度の仕組みや利用の流れを身近な事例を通して紹介しました。

最後に、市民後見人の角さんより、実際の活動状況について報告があり、地域の中で支え合う取組みとしての成年後見制度を、より身近に感じていただける内容となりました。当日は約80名の参加があり、成年後見制度への関心の高さが窺えました。

今後も、市民の皆さんに成年後見制度への理解を深めていただけるよう、広く普及・啓発に取り組んでまいります。




“キャロットサービス協力会員”を募集しています！！

キャロットサービスとは、社会福祉協議会が行う「が参加する住民参加型福祉サービス」です。高齢者世帯や障がいのある方、産前産後のお母さんなどの支援を必要とする人が「利用会員」、ちょっとした困りごとをサポートする人が「協力会員」となり、家事支援や外出同行などをお手伝いし、生活のサポートを行っています。この活動は「困ったときはお互いさま」の精神で行う助け合い活動です。協力会員さんは“地域の中での助け合い”としてご参加、ご協力をいただいています。一緒に活動してみたいと思われる方は、下記までご連絡ください。

【協力会員さんの声】 近藤 勝代さん（活動15年目）

キャロットサービス創設以来活動しています。高齢社会となり、特に一人暮らしの方はいろいろできないことも増えて参ります。介護保険申請には至っていないが、一寸手伝ってほしいと思うことがある、そんな時お役に立つのがキャロットサービス。お役に立てる喜び、それを受け方のありがたいという喜び、お互いに喜びを共感できます。まだまだお役に立ちますよ。



令和8年度ボランティア登録(新規・更新)、ボランティア活動保険の申込が始まります！

ボランティア登録(新規・更新)
自分ができることを地域や困っている方のために役立てたいと思っている方、ボランティア登録してみませんか？個人でも団体でも登録可能です。現在登録されている方につきましては、改めて更新手続きのお知らせをさせていただきます。
【期間】令和8年4月1日～令和9年3月31日

ボランティア活動保険
ボランティア活動中の様々な事故による「ケガ」や「損害賠償責任」を補償する保険です。地域福祉活動やボランティア活動時の補償や在宅・福祉サービス中の補償、送迎サービス中の補償など様々な保険があります。

キャロットサービス、ボランティア登録・保険のお問合せ先 ボランティアセンター ☎32-9033

大牟田市社会福祉協議会 功労者表彰式典

表彰の部

- ◆市社協役員・評議員(3名)
大場 和正、大迫 孝博、西河マス子
- ◆校区社協実践活動者(34名)
上田 和子、待鳥 信夫、松本 等、片山 繁樹
堤 康一郎、片山 優司、西本サチ子、岩切 正義
田中久仁子、古賀 早苗、木田 秀樹、高松 雅明
河野 保子、木村 敬典、大津 孝子、西田ハルエ
古賀 俊光、鶴山スマ子、田嶋 重徳、大崎とめ子
江崎 美登、中山千代美、山内 衣江、吉永 信治
西山日出喜、松尾 弘美、松藤まつ代、湯村勢津子
森田 義孝、関 廣行、中原 英子、奥園 睦子
吉武 政幸、吉富由紀子
- ◆校区(社協)における顕著な取組み・事業(2団体)
羽山台空き家対策プロジェクト
～地域と学校を結ぶ～
銀水花いっぱい絆プロジェクト
- ◆校区において地域貢献が顕著な企業・団体等(3団体)
大牟田中央ソフトボールクラブ、アネシス・プラージュ、
社会福祉法人 それいゆ

- ◆事業運営協力者(7名)
・日常生活自立支援事業 生活支援員(2名)
堤 和子、猿渡美智代
・ファミリー・サポート・センター事業 協力会員(1名)
田中 和美
・キャロットサービス協力会員(2名)
北川 正一、北原 聖子
・成年後見センター事業 市民後見人(2名)
中村 典子、柏原カシミ
- ◆校区功労者(2名)
中村加代子、永田 健一

共同募金関係表彰者

- ◆福岡県共同募金会会長表彰(1名・2団体)
西山 明、天の原校区社会福祉協議会
羽山台校区まちづくり協議会
- ◆福岡県共同募金会会長感謝(1名・1団体)
徳永 京子、吉野校区社会福祉協議会
- ◆赤い羽根共同募金高額寄付者(16団体)
株式会社三井三池製作所 九州事業所
社会福祉法人恩賜財団済生会支部
福岡県済生会大牟田病院
学校法人大牟田学園 大牟田高等学校
特定非営利活動法人大牟田市母子寡婦福祉会
学校法人帝京大学 帝京大学福岡医療技術学部
三井金属株式会社 三池事務所
大牟田市立白川小学校
ジュニア民生委員・児童委員
社会医療法人親仁会 米の山病院
三井化学株式会社 大牟田工業
学校法人不知火学園 誠修高等学校
大牟田ロータリークラブ
大牟田中央校区まちづくり協議会
白川校区社会福祉協議会、九電グループ(大牟田)
学校法人明光学園 明光学園中学校・高等学校
中友校区民生委員・児童委員協議会
- ◆歳末たすけあい募金高額寄付者(2団体)
学校法人明光学園 明光学園中学校・高等学校
社会福祉法人あけぼの会

感謝の部

- ◆市社協役員(1名)
金子 英彦
- ◆校区社協実践活動者(31名)
立山真由美、山下美貴子、田代 民枝、古賀奈々子
藤崎小夜子、野村 勝代、田上しのぶ、前田奈美子
西田 守、小原 博子、吉富 義満、森川 清司
岩根 敬吾、桑原 涼子、山口 勤、柿山 泰彦
西藤美和子、石川 毅、波戸崎富美子、武藤 重徳
友添 秀利、根本 親美、鳥越 隆典、田中 健治、
黒田 敏洋、宮崎佐和子、藤本佐紀子、猿渡 啓子、
中村十三香、藤原 哲子、佐野 秀一
- ◆ボランティア活動者・団体(1名・2団体)
福田 正春
NPO法人つなぎte おおむた、里山と暮らそう ゆたか
- ◆善意銀行高額寄付者・団体(4名・8団体)
・寄付(4名・3団体)
小柳 順治、堀 洋子、鶴原 敏夫、古賀 正廣
三井金属株式会社 レアマテリアル事業部
大牟田デジラーライオンズクラブ
一般社団法人茶道裏千家談交會大牟田支部
・寄贈(5団体)
株式会社ハピネスト カーブスゆめタウン大牟田
株式会社ハピネスト カーブスイオンモール大牟田
社会福祉法人恩賜財団済生会支部
福岡県済生会大牟田病院、南筑後農業協同組合、
グリーンコープ生活協同組合ふくおか



※敬称は省略させていただきました。